

試験炉製作状況レポート ⑥

いよいよ蓋部の組立です。基本は一人でもその作業ができるか？安全性・作業性をここでは重視しています。

- ① 炉体の接続部にセラミックファイバ - (耐熱温度1400°C前後の仕様) を敷く → 厚みがあるので気密性は確保できそうです。



カッターナイフで加工してレンガの上に敷いて行きます。第1炭化室と第2炭化室の間の気密が重要です。

- ② チェーンブロックで水平に吊り上げ、静かに載せます。



吊りボルト4本にワヤとロープで吊り上げます。この段階では自体の荷重でやや変形しますが、セラミックファイバで吸収できる程度です。

- ③ レンガを置いていきます。



レンガの形状が規格されており、隙間なく覆うことができます。



- ④ 全体像です。

燃焼部

排煙部

